



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 アルビス株式会社

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 実

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 大山 秀樹

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	58,755	4.8	2,187	19.6	2,503	20.3	1,547	20.6
28年3月期第3四半期	56,087	5.0	1,828	22.8	2,080	20.1	1,283	35.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,724百万円 (32.6%) 28年3月期第3四半期 1,300百万円 (19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	199.35	—
28年3月期第3四半期	166.12	165.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	38,656	19,347	50.1	2,573.09
28年3月期	33,844	18,929	55.9	2,450.31

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 19,347百万円 28年3月期 18,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期の第2四半期末配当金35円には当社50期記念配当10円が含まれております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	5.3	2,453	8.4	2,800	4.2	1,611	2.5	208.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	7,905,926 株	28年3月期	7,905,926 株
29年3月期3Q	386,693 株	28年3月期	180,957 株
29年3月期3Q	7,762,436 株	28年3月期3Q	7,725,026 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国を始めとする新興国の成長鈍化やヨーロッパ・中東の情勢不安、金融資本市場の変動等の懸念により、先行きが不透明な状況であります。

小売業界におきましては、少子高齢化の急速な進展や労働環境の変化による人員不足、同業他社のほか業態を超えた企業間競争の激化等により、経営環境は厳しさを増しております。

このような激化する競争環境の中、企業を成長させ企業価値を高めるために「アルビスブランドの確立」を経営方針に掲げ、お客様から「わたしのお店」として支持いただける店作りを目指して、各種施策に取り組んでまいりました。

店舗の最新化策として、平成28年7月に「布瀬店(旧富山南店)」、平成28年9月に「高原町店(旧グリーンプラザ店)」、平成28年11月に「明倫通り店(旧フードバリュ野々市店)」を建替えオープンいたしました。

「布瀬店」は、富山市南部の空港通りに面し、老朽化した店舗を建替え、一新しました。

店舗の入り口に惣菜コーナーを設置し、スープバーや炊き立てご飯をその場で詰める「あったかご飯弁当」など、出来立てを感じていただける商品を提供しております。小型店の特性を生かし、青果、海産、精肉の売場を集約し、お客様の利便性を高めることで、近隣のお客様を中心に好評を得ております。

「高原町店」は、富山市の東部に位置しており、ショッピングセンター(旧グリーンプラザ)を建替え、一新しました。当該店舗では、レジでのお客様の待ち時間短縮を図るため、アルビスの店舗として初めてセミセルフレジを導入しました。大幅に売場面積を広げ、新鮮な魚やお刺身の種類を豊富に取り揃え、安心安全な野菜、味・品質にこだわった商品を充実させました。また、近隣のお客様や仕事帰りのお客様のニーズに適応した品揃えに取り組んだことで業績は順調に推移しております。

「明倫通り店」は、旧フードバリュ野々市店を建替え、野々市市の主要道路に接続するとともに、売場面積を約1.5倍に拡大しました。当該店舗では、地元野菜コーナーの拡充、地元の港から朝どれの鮮魚を豊富に揃えるなど、生鮮を強化し、品揃えの幅を広げました。また、当屋外テラスと直結するイートインコーナー(meirin terrace(明倫テラス))を新設しました。開放的な雰囲気の中で、店内商品をお召し上がりいただける他、地域の皆様の憩いの場としてご利用いただいております。

既存店の活性化策として、平成28年6月に高木店、平成28年11月に経堂店、辰口店を改装しました。これらの改装では、生鮮を中心とした品揃えを強化したほか、お客様がくつろげるイートインコーナーを新設しました。

人材確保に向けた施策として、以前より女性採用割合の増加、女性の継続就業年数を伸ばす取組み、女性管理職の割合拡大など、従業員の多くを占める女性社員が生き生きと活躍する取組みを行ってきました。この結果、平成28年9月に厚生労働省より女性の活躍推進が優良な企業に与えられる「えるぼし」の3段階目(最高ランク)の認定を受けることができました。また、パート社員の資格等級制度が定着してきたことで、技能・賃金と共にモチベーション向上に寄与しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前第3四半期連結累計期間以後に出店した小矢部店や当期に建替えオープンした店舗の影響等により、営業収益58,755百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益2,187百万円(前年同期比19.6%増)、経常利益2,503百万円(前年同期比20.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,547百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,811百万円増加し、38,656百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の増加額1,850百万円、売掛金の増加額213百万円、商品の増加額279百万円、流動資産その他の増加額272百万円、建物及び構築物(純額)の増加額978百万円、土地の増加額590百万円、敷金及び保証金の増加額250百万円等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,393百万円増加し、19,309百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額1,471百万円、短期借入金の増加額1,400百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額304百万円、未払法人税等の減少額183百万円、賞与引当金の減少額244百万円、流動負債その他の増加額531百万円、長期借入金の増加額990百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円増加し、19,347百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額1,079百万円、自己株式の増加額862百万円その他有価証券評価差額金の増加額176百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績につきましては、平成28年4月28日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ22,031千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,152	5,499,071
売掛金	390,837	604,587
商品	1,630,747	1,909,800
原材料及び貯蔵品	62,880	75,664
その他	989,707	1,262,571
貸倒引当金	△827	△971
流動資産合計	6,721,499	9,350,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,328,288	10,307,247
土地	10,568,185	11,159,026
その他（純額）	1,815,391	2,038,549
有形固定資産合計	21,711,865	23,504,823
無形固定資産		
のれん	99,103	73,620
その他	424,966	534,192
無形固定資産合計	524,070	607,812
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,520,310	3,771,298
その他	1,560,331	1,616,202
貸倒引当金	△193,321	△194,169
投資その他の資産合計	4,887,320	5,193,331
固定資産合計	27,123,256	29,305,968
資産合計	33,844,756	38,656,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,032,806	5,504,596
短期借入金	—	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,828,087	2,132,738
未払法人税等	463,850	280,356
賞与引当金	467,300	222,347
その他	2,031,975	2,563,110
流動負債合計	8,824,019	12,103,148
固定負債		
長期借入金	3,911,559	4,901,795
受入敷金保証金	937,414	923,492
資産除去債務	556,704	582,011
その他	685,875	798,569
固定負債合計	6,091,553	7,205,868
負債合計	14,915,573	19,309,017

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,896,091	2,896,091
資本剰余金	3,595,945	3,620,993
利益剰余金	12,740,160	13,819,793
自己株式	△196,562	△1,058,937
株主資本合計	19,035,634	19,277,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△107,071	69,734
その他の包括利益累計額合計	△107,071	69,734
新株予約権	620	—
純資産合計	18,929,182	19,347,675
負債純資産合計	33,844,756	38,656,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	55,217,960	57,890,338
売上原価	39,094,042	40,629,954
売上総利益	16,123,917	17,260,384
不動産賃貸収入	869,989	865,344
営業総利益	16,993,907	18,125,728
販売費及び一般管理費	15,165,720	15,938,483
営業利益	1,828,186	2,187,245
営業外収益		
受取利息	19,717	18,359
受取配当金	17,854	17,099
受取手数料	33,334	31,246
受取販売奨励金	78,174	86,552
その他	199,523	246,108
営業外収益合計	348,604	399,366
営業外費用		
支払利息	81,974	62,742
その他	14,148	20,481
営業外費用合計	96,122	83,224
経常利益	2,080,669	2,503,388
特別利益		
固定資産売却益	—	25,640
投資有価証券売却益	—	30,305
特別利益合計	—	55,945
特別損失		
減損損失	160,759	148,877
50周年記念事業費	—	110,419
特別損失合計	160,759	259,296
税金等調整前四半期純利益	1,919,909	2,300,037
法人税、住民税及び事業税	546,136	606,450
法人税等調整額	90,478	146,117
法人税等合計	636,615	752,567
四半期純利益	1,283,294	1,547,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283,294	1,547,470

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,283,294	1,547,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,879	176,806
その他の包括利益合計	16,879	176,806
四半期包括利益	1,300,173	1,724,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,300,173	1,724,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、平成28年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式は当第3四半期連結累計期間において、987,297千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において1,058,937千円となりました。

なお、平成29年1月16日をもちまして取締役会決議に基づく自己株式の取得を終了しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。